

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【公開番号】特開 2009-76898 (P2009-76898A)

【公開日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2009-014

【出願番号】特願 2008-220186 (P2008-220186)

【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 R

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 8 日 (2011.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 種の - オレフィン - 酢酸ビニルコポリマーから構成される少なくとも 1 層の層を含むソーラーモジュールであって、前記 - オレフィン - 酢酸ビニルコポリマーが、前記 - オレフィン - 酢酸ビニルコポリマーの全重量を基準にして 40 重量 % 以上の酢酸ビニル含有率を有するとともに、100 ~ 700 バールの圧力において溶液重合法によって調製されることを特徴とするソーラーモジュール。

【請求項 2】

i) 前面および背面を有し、前記前面が、完成ソーラーモジュールにおいて太陽の方を向く面であるガラス基材 A、

ii) 前記ガラス基材の背面に適用される透明ポリマー層 B、

iii) 前記ポリマー層 B に適用される 1 つ以上の太陽電池 C、

iv) 前記太陽電池の上に適用される更なる透明ポリマー層 D、

v) 保護層 E

から構成され、前記太陽電池 C が前記透明ポリマー層 B および D に埋め込まれた、請求項 1 に記載のソーラーモジュールであって、前記透明ポリマー層 B および / または D の少なくとも一方、好ましくは前記透明ポリマー層 B と D の両方が、請求項 1 に記載の - オレフィン - 酢酸ビニルコポリマーから構成されることを特徴とするソーラーモジュール。

【請求項 3】

ソーラーモジュールにおける請求項 1 に記載の - オレフィン - 酢酸ビニルコポリマーの使用。

【請求項 4】

固定発電および移動発電のための請求項 1 又は 2 に記載のソーラーモジュールの使用。

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載の少なくとも 1 つのソーラーモジュールを含む太陽光発電施設。